

県内唯一の未開通区間である成田市の大栄JCTと山武市の松尾横芝IC間は、令和6年度(2024年度)開通予定でしたが時期が見直されました。その背景には、**地権者との交渉に時間を要したこと**や**重金属(ヒ素、鉛)が検出されたこと**、また、芝山ト

ンネル(延長616m)での工事が難航したことなどがあります。そこで先般、首都圏中央連絡自動車道推進議員連盟で現場を視察しました。



神崎PA:用地交渉の遅れや重金属の検出、川沿いのため地盤改良の必要性



芝山トンネル:砂質土のため天部抜け発生、安全対策の実施



成田市川上:用地の収用箇所



高谷川高架橋:環境基準を超える重金属(ヒ素・鉛)の検出

千葉県では、圏央道の効果を県内各地に波及させるために、**国道296号や県道成田小見川-鹿島港線**をはじめとする**アクセス道路の整備**を進めています。また、成田空港のさらなる機能強化を見据え、交通需要の増加や地域づくりを支えるために、**圏央道と空港を直結する新たなインターチェンジの整備**

に成田空港会社と連携して取り組んでいます。予定通り開通できないことは大変残念ですが、引き続き、4車線化を含めた圏央道の1日も早い全線開通、そして休憩施設の早期整備に向けて国や東日本高速道路との連携を図り事業を推進してまいります。



「3年ぶりに」「念願の」という言葉が躍る夏でした。成田らしいお祭りやイベントの数々に参加させていただく度にコロナ禍が明けたのだと実感します。全てが「大丈夫」といえる状況ではありませんが、長いトンネルを歩んできたからこそ見える景色です。そして、実りの秋、食欲の秋が到来しました。今年が千葉県誕生150周年、来年は成田市施行70周年です。この節目をみなさんと一緒に祝い、楽しんでいきましょう！

成田山裏門入口交差点で、白杖を持った方が「歩道」ではなく「道路」内に立っているという危険な状況がありました。「交差点の歩道には点字ブロックがなく、歩道と道路の区別がわからなかった」とのこと。現地を確認したところ、同交差点のイオン側は同社によって設置済みでしたが、他の2方が未整備であったため県担当と打ち合わせを行いました。早速、千葉県担当課と一緒に検討を進め、先日点字ブロックやポールが整備されました。様々な調整があり、ご相談いただいたから実現に至るまで5ヶ月も要してしまいました。これからもスピード感を持って市民の皆さまから寄せられるご相談やご要望に全力で取り組んでまいります。

雨宮しんごのご意見対応

成田山裏門入口交差点に点字ブロックを整備(土屋地区)

成田空港との一体利用を見据えた国際物流施設を**開発**へ！



イメージ図:成田市下福田地区に建設する計画

成田市が成田空港の近くに大型物流施設を開発する計画を発表しました。約45ha、投資額一千億円、物流倉庫4棟や検疫・通関の機能を担う施設を整備するとしていきます。千葉県では地域未来投資促進法の弾力的な活用を勝ち取り、農地を含む土地利用が認められました。多古町においては3月に約70haの成田空港内外一体となる国際物流拠点の整備プロジェクトが発表されましたが、今回で2例目となります。成田空港は国際的な産業拠点となる可能性を秘めています。グローバルハブ空港としての役割を發揮していくためには、国際線ネットワークの充実・強化や空港へのアクセス強化が不可欠なことから、国や成田市をはじめとする空港周辺市町と連携することで、成田空港を活かした千葉県の成長・発展に取り組んでまいります！



profile

- ・44歳、2児の父、犬2匹
- ・2023年千葉県議会議員
- ・2022年成田市市長選挙惜敗
- ・成田市議選4期連続トップ当選
- ・第41代成田市議会議員
- ・明治大学大学院修了
- ・日本サーフィン連盟公認インストラクター

主な役職

- 千葉県議会議員
- ・商工労働常任委員会 委員
- ・印旛沼水質保全協議会 顧問
- ・千葉県議会首都圏中央連絡自動車道推進議員連盟
- ・千葉県資源エネルギー問題懇話会
- ・千葉県議会観光立県推進議員連盟

公式ホームページはこちら
ama-shin.net

LINE 公式アカウント
友達募集中です！

01 千葉県から成田市を盛り上げる観光施策！

千葉県のインバウンド消費額は全国的にも低く、平均宿泊日数は0.8泊で**全国最下位**、インバウンド消費金額は12,932円で**全国ワースト2位**です。(2020年)



そこで トリップアドバイザーなど外国人観光客向け口コミサイトへの事業者向けセミナー開催の他、千葉県が集中的なPR作戦を行います！

【外国人観光客向けプロモーション事業(予算額:37,300千円)】
また、観光客のSNS・消費・動向などのビックデータを分析してプラットフォームを構築することで観光ニーズに応える体制づくりを進めていきます。いずれも要望していた政策であり特に国際空港を擁する成田市との綿密な連携を求めました。
【デジタルマーケティング事業(予算額:46,000千円)】

02 成田新市場を活用した県産農林水産物の輸出強化！

ワンストップ輸出機能を備えた成田新市場を活用して、**県産農林水産物の輸出を活性化**させていきます。

有識者会議を開いて新たな取り組み方針を策定するほか、県産農林水産物の輸出に向けて、輸出先の規制・ニーズに対応した設備・機器などの整備や生産・加工体制の構築に取り組みます。
千葉県産品も成田から盛り上げていきます。

- 【千葉県農林水産物輸出活性化事業(予算額:15,000千円)】
- 【食品産業の輸出向けHACCP等対応施設整備事業(予算額:167,249千円)】
- 【グローバル産地づくり推進事業(予算額:5,500千円)】



03 煩雑な手続きなし！スピード感を持って中小企業を支援！

成田商工会議所青年部の一員としてもこだわってきた**中小企業支援が前に進みます！**

新型コロナ5類移行により社会経済活動が持ち直しつつありますが、経済の好循環をさらに促すために、生産性向上に必要な設備投資への緊急支援を補助します。雨宮は質疑に立ち、申請代行業者などに頼らず、自社で申請できるよう手続きを簡素化し、スピード感をもって補助できるように要請しました。行政もそれに呼応し対応いただけることになりました。地元中小企業の強みを伸ばし、弱みを克服し、生産性を伸ばすために力を注ぎます！

【中小企業生産性向上・設備投資促進補助金 補助率等:1/2(上限5百万円) 予算額:22億円】



04 ゴミの不法投棄の発生区間への道路美化清掃！

住民の皆さまからは、ゴミの不法投棄に関するご相談もしばしばです。こうしたなか、千葉県が管理する国道と県道のうち、ゴミの不法投棄が多く発生している区間において道路美化清掃を実施する他、路肩の防草対策としてコンクリートの打設や注意喚起看板の設置を行っていきます。成田市に関連するところとしては**印西市の国道464号北千葉道路**で実施されます。

【道路環境整備事業(予算額:360,000千円)】



05 小中学校の不登校児童が過去最多の12082人に急増、対策へ！

県内の不登校児童生徒数は9年連続で増加しており、令和4年度は12082人(小学生4600人、中学生7482人)だったことが明らかになりました。なかでも**小学生の増加が顕著で、直近10年で約4倍に増加**しています。

このうちフリースクールなどで支援を受けているのは小学生が5%、中学生が3%と低く、**不登校児童への教育機会の確保が急務**となっています。

また、フリースクールは授業料が約3万円/月と**経済的負担も重い**ほか、都市部に集中している特徴があり、**県内54市町村中、35市町村がゼロ**という状況です。

また、運営側にも大きな課題があることから**公的補助の必要性**も感じます。

不登校児童生徒やフリースクール等の実態を調査し、市町村や保護者などと連携して支援ネットワークを広げ、多様な教育機会を確保できるよう取り組みます。

【不登校児童生徒の教育機会確保推進事業(予算額:2千万円)】



06 公立高校入試の採点ミスの再発防止に向けマークシート導入へ！

今春の県内公立高校入試においてこのような重大事案が発生しました！

| | | | | | |
|-----------------------|------------|---|----------|---|----------|
| 採点ミス | 県立高92校870件 | + | 市立高6校63件 | = | 計98校933件 |
| 合格とすべき受験生を誤って不合格としていた | 県立4校5人 | + | 市立1校1人 | = | 計5校6人 |

県では再発防止に取り組むために、マークシートとデジタル採点システムを導入することになりました。また、各校のHPでの合格発表が2年連続で予定時間に閲覧できなかったことを受けて、今年度からは特設サイトで発表を行います。なお、答えは合格発表翌日から1年間以内であれば申請により閲覧または写しを受け取ることができます。

再発を防止し公立高校入試が円滑に実施されるよう、働きかけてまいります。

【県立高校入学者選抜改善事業(予算額:87,000千円)】

